

## 運送原価算出条件の変化による「運送原価比較」:その8⑥

～無事故継続に伴う自動車保険料の違いによる「運送原価」の変化と「K・Y・T (危険予知トレーニング) を活かした交通安全の推進」について～

運送原価を算出する時の留意点の一つは「条件付きの運送原価であり、運送原価の内容は、条件(インプットデータ)次第であること」です。「運送原価比較:その8」では、自動車保険料(任意)の割引率が拡大する「無事故継続

に伴う自動車保険料」の違いによって、運送原価がどのように変化するかについてみています。

前回(運送原価シリーズ・32)は、無事故を継続していくために効果が高いとされています「ヒヤリ・ハット活動(体験)を活かした運転指導(教育)」の一例を示しました。今回は、小集団活動などを通じて展開して、高い効果が確認されており「K・Y・T(危険予知トレーニング)を活かした交通安全の推進(交通K・Y・T)」の一例について触れてみたいと思います。

この「交通K・Y・T」の実践により、運転者の危険予知能力を高めると共に、全ての運転者が共有することにより安全意識・安全技術などを向上させて、無事故を継続されますことを願っております。

### I. 自動車保険料(任意)の割引率の違いによる「1ヶ月1台当たり・運送原価比較」

～運送原価シリーズ・28の算出結果～

		割引率=0(ゼロ)の場合		割引率=50%の場合	
項目		月額(円)	構成比(%)	月額(円)	構成比(%)
1 車両費	(1)償却	145,723	9.23	145,723	9.45
	(2)金	18,407	1.17	18,407	1.19
	(3)自動車取得税	4,602	0.29	4,602	0.30
	(4)自動車税	3,242	0.21	3,242	0.21
	(5)自動車重量税	4,667	0.30	4,667	0.30
車両費計		176,641	11.19	176,641	11.45
2 保険費	(1)自動車損害賠償	5,209	0.33	5,209	0.34
	(2)対人賠償	12,183	0.77	6,092	0.39
	対物賠償	19,065	1.21	9,533	0.62
	搭乗者傷害	1,240	0.08	620	0.04
	自動車保険	24,943	1.58	12,472	0.81
保険費計		62,640	3.97	33,926	2.20
3 運行費	(1)燃料費	262,857	16.65	262,857	17.04
	(2)油脂費	6,785	0.43	6,785	0.44
	(3)整備費	118,220	7.49	118,220	7.66
	(4)タイヤチューブ費	73,792	4.67	73,792	4.78
	運行費計		461,654	29.24	461,654
4 人件費	(1)支払賃金	348,400	22.07	348,400	22.59
	(2)支払賞与	35,200	2.23	35,200	2.28
	(3)健康保険料	15,728	1.00	15,728	1.02
	法定厚生年金保険料	26,725	1.69	26,725	1.73
	労災保険料	4,987	0.32	4,987	0.32
	雇用保険料	4,028	0.26	4,028	0.26
(4)福利厚生費	11,508	0.73	11,508	0.75	
(5)退職金引当金	11,508	0.73	11,508	0.75	
人件費計		458,084	29.01	458,084	29.70
5 事故費	(1)施設使用料	17,500	1.11	17,500	1.13
	(2)施設賦課税	24,825	1.57	24,219	1.57
6 施設費	施設費	11,648	0.74	11,363	0.74
	その他諸費	36,473	2.31	35,582	2.31
7 その他諸費		70,833	4.49	70,833	4.59
8 通行料		0	-	0	-
9 運送費		1,283,825	81.32	1,254,220	81.32
10 運送管理費		219,791	13.92	214,722	13.92
11 運送費合計		1,503,616	95.24	1,468,942	95.24
12 営業利益		75,181	4.76	73,447	4.76
13 運送原価		1,578,797	100.00	1,542,389	100.00

### II. 無事故継続のための「K・Y・T(危険予知トレーニング)を活かした交通安全の推進」について

#### 1. K・Y・Tについて

交通事故防止には種々の手法がありますがこの手法の一つとして、人間の行動を科学的に分析して開発されたのが、「K・Y・T」です。交通K・Y・Tは、運転者に対して次のことを養成することによって、交通事故防止に効果があることが実証されています。

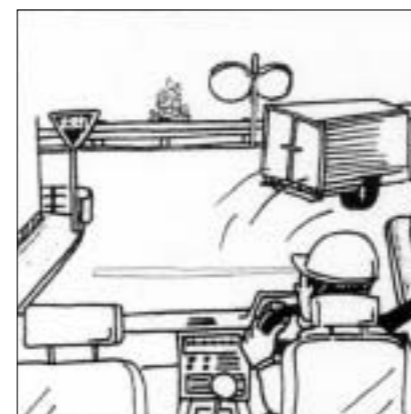
- ① 運転上の危険に対する感受性を敏感にする。
- ② 瞬時の判断力を養う。
- ③ 交通における危険を事前に察知(予知)する能力を高める。

#### 2. 交通K・Y・Tの進め方<4ラウンド法>

(1) 準備につて

- ① 準備する機材「イラストシート」、「模造紙」、「危険予知訓練レポート」と「黒と赤色のマジック(黒板とチョークでも良い)」。

#### 【イラストシートの例】



どんな危険がひそんでいますか？

あなたは信号機のない一般道路のT字路をトラックの後について、右折しようとしています。(カーブミラー、一時停止標識あり)

#### ② チーム編成

1チームは、運転者5～6名とします。

#### ③ 役割分担

- リーダー: 討議の司会・進行・時間管理。全員参加を心掛けます。
- 書記: メンバーの発言を模造紙に記入します。
- レポート係: 書記が模造紙に書いたものを「危険予知訓練レポート」にそのまま記入します。
- 発表者: 模造紙によって、チームでの討議内容やチーム行動目標などを発表します。
- コメント係: 相手チームの発表内容に対してコメントします。

#### (2) 話し合いに当たっての留意点について

話し合いはリラックスした雰囲気の中で行い、いろいろな意見が沢山出るように進めることが大切です。

#### ① 意見の量を増やす「4原則」

- 批判禁止: 良い悪いの批判はしない。
- 自由奔放: 思ったことは何でも出す。
- 大量生産: 何でもよいからドンドン出す。
- 便乗加工: 他人のアイデアに便乗してもよい。

#### ② 本音の話し合い「4原則」

- 本音でワイワイ話し合う(リラックス)。
- 本音でドンドン話し合う(ナマ情報)。
- 本音でグングン話し合う(短時間)。
- なるほどソウダ・コレダと合意する(質の高いものに絞り込む)。

#### (3) K・Y・Tの実際の進め方について

ラウンド	危険予知トレーニングの4ラウンド	危険予知トレーニングの実際の進め方
1R	● 現状把握: どこに危険が潜んでいるか!	◆ リーダー: 「イラストシート」を用意して、状況を説明しながらどんな危険が潜んでいるかをメンバーに問いかけます。 ◆ メンバー: 「イラストシート」の中に潜む危険要因と現象を具体的な交通事故の形で表現します。
2R	● 本質追究: これが危険のポイントだ!	◆ 最も重要と思われる事項(危険ポイント)を絞り込んでいき、その項目に○印を付けます。 ◆ ○印の項目を更に絞り込み◎印(2項目位)を付け、アンダーラインを赤色マジックで引きます。
3R	● 具体的対策設定: あなたならどうする!	◆ 2ラウンドで絞り込んだ「危険ポイント」に対して、「具体的で実行可能な対策(3項目程度)」をメンバー全員で考えます。
4R	● 行動目標設定: 私達はこうする!	◆ 重点実施項目を絞り込み(2項目程度)、※印を付けます。 ◆ 絞られた2項目を組み合わせてチームの行動目標を設定します。ポイントは、「～するときは」、「～して」、「～しよう」です。 ■ 事例の「イラストシート」での行動目標 『信号機のないT字路を右折する時は、必ず一時停止し、徐行しながら右・左の安全を確認しよう!』で、全員で立ち上がって重点実施項目を指差し呼称して終了します。

#### (4) 発表とそのコメントについて

- ① 発表者: 自チームの模造紙(危険予知訓練レポート)を基に発表します。
- ② コメント者: 他チームの発表に対しては、まず長所を見つけて褒めることを第一にします。問題点があれば「強いて欲を言えば・・・」と前置きして意見を述べたり、アドバイスをします。基本は、他チームの行った「交通K・Y・T」に学ぶという心構えです。

#### 【危険予知訓練レポートの例】

シートNO.		危険予知訓練レポート					とき
							ところ
チーム名	リーダー	書記	レポート係	発表者	コメント係	その他のメンバー	
<p>■ 第一ラウンド(どんな危険が潜んでいるか): 潜在危険を発見・予知し、危険要因とその要因によって引き起こされる現象を想定する。                  ■ 第二ラウンド(これが危険のポイントだ!): 発見した危険の内重要危険に○印。                  更に絞り込んで、特に重要と思われる「危険のポイント」に◎印を付ける。</p>							
○◎	No.	危険要因と現象(事故の型)を想定して(～なので～して～になる)というように書く					
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
<p>■ 第三ラウンド(あなたならどうする!): 危険ポイント◎印を解決するための具体的で実行可能な対策を考える。                  ■ 第四ラウンド(私達はこうする!): 重点実施項目を絞り込み※印を付ける。更にそれを実践するためのチームの行動目標を設定する。</p>							
◎印のNo.	※印	NO.	具体策			上司(コーディネーター)コメント	
		1					
		2					
		3					
		4					
		1					
		2					
		3					
		4					
チーム行動目標(～を～して～しよう)							
(確認)指差し呼称項目							

